

会 議 録

会議の名称	次期和泉市総合計画等策定委員会（令和5年度 第1回）
開催日時	令和5年12月22日（金） 午前10時から午前11時30分まで
開催場所	和泉市役所 3A・3B会議室
出席者	<p><b>【出席者】</b>            森吉副市長、吉田副市長、小川教育長、小泉参与、山本危機管理部長、並木市長公室長、前田総務部長、山崎環境産業部長、西川福祉部長、立花市民生活部長、藤原子育て健康部長、土本教育・こども部長、奥野都市整備室長（都市デザイン部長代理）、辻生涯学習部長、林田上下水道部長、河合消防本部次長（消防長代理）、藤原行政委員会局長、井阪議会事務局長</p> <p><b>【事務局】</b>            （政策企画室）            東政策企画室長、藤井企画経営担当課長、田嶋政策・資産マネジメント担当課長補佐            中総括主査、江口主査、岸尾主事            （人事課）            奥課長、富岡課長補佐            （財政課）            古川次長、門林課長</p>
会議の議題	1. 次期総合計画等の考え方 2. 今後のスケジュールについて
会議の要旨	次期総合計画の策定方針について意見交換を行った。また、今後のスケジュールについて示し、その他事項として、創発プランの延長公表時期について報告を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録

	<b>【次第1 次期総合計画等の考え方】</b>
事務局	（事務局【政策企画室】から、第6次総合計画の策定方針を説明）
森吉副市長	○議題が複数あるので、順に意見を伺いたいと思う。 まず、市民等へのアンケートについて意見等あるか。
小泉参与	○無作為抽出 3,000 人へのアンケートとライン登録者へのアンケートでは対象はどちらも全市民であり、重複もあると思うが質問項目は変わるのか。
事務局	○ラインアンケートは簡潔な質問の方が回答しやすいと考えているので、それぞれに応じて質問項目は変更する予定である。
小泉参与	○カテゴリー別でうまく集計や計画に活用していけるような質問項目を検討されたい。
土本部長	○子どもへのアンケートについて、教育部門とは未調整とのことなので、学校側の事務等を考慮し、できるだけ早期に調整いただくようお願いしたい。
小川教育長	○アンケート対象について、カテゴリー別に行くことは和泉市ならではの取組であり、授業を通して子どもの意見聴取をするなど通常の市民全体へのアンケートとは異なることをもっと打ち出してもよいと思う。
西川部長	○アンケートの内容について、この資料では市民の不満を聞くような構成になっているが、不満のみを聞くのか。
事務局	○今回の資料は一例であり、詳細についてはコンサル業者の意見を取り入れていきたい。また、各課で既に行っているアンケートもあると思われるので、そういったものも参考していきたい。
西川部長	○回答方式についても、記述式では回答しにくいし、集計も複雑になると思われる。
事務局	○マーク式を採用するなど、回答方法は今後検討していきたい。方向性が定まった際には今後の策定委員でも諮っていきたいと考えている。
西川部長	○「これがあれば、より住みたくなる」という項目は、今すでに住んでいる市民に聞くのか。
事務局	○回答者が考える、自分が希望する何かがあれば和泉市に住み続けたいと思

	えるものや、こういうものがあればよりよくなるというものを聞く意図。質問文などは今後、よりよいものを検討していく。
井阪局長	○カテゴリーに小中学生や大学生はあるが、高校は含めないのか。
事務局	○こどもへの聴取のなかで、市の所管であり協力を得やすいという考えから市立の小中学生を対象としている。また、大学生については、大学生というカテゴリーよりも市外から転入してきた一人暮らしの若者という視点で考えている。
藤原部長	○保護者のカテゴリーについては小中学生の保護者か。未就学児などは入らないのか。
事務局	○小中学生の保護者を想定しているが、今後の検討のなかで未就学児の保護者へも対象を広げる可能性はある。
吉田副市長	○アンケートはあくまでツールであり、計画のベースとなるものがあってそれに応じたアンケート項目があるのが通常。今回の計画策定にあたっては、市民アンケートと学識の意見を基にベースをつくるということだが、項目策定にあたっては有識者の意見をもらうなど意思決定の場が必要だ。
事務局	○まずは白紙の段階で学識への意見聴取や市民アンケート、各課ヒアリングを行い、計画のベースを作っていく予定。アンケート実施の際には、ベースとなるものはないため、コンサル業者や策定コーディネーターと相談しながら検討していきたい。
吉田副市長	○総計策定にあたっては、市民アンケートのみでなく各課で行っているアンケートも活用し参考にする方がよいのではないか。
事務局	○各課で行っているアンケートも参考にしたいと考えている。
森吉副市長	○こういった過程を経てアンケート項目が策定され、実施されていくのか今後資料にも示すようにしていく必要がある。
森吉副市長	○他に意見あるか。なければ続いて、学識ヒアリング及び策定コーディネーターについて意見等あるか。
土本部長	○学識の選定は市が行うのか。コンサル業者に提案を求めてもよいのでは。
事務局	○コンサル業者の推薦なども取り入れて決定したいと考えている。
吉田副市長	○計画を策定した後の進捗管理が重要である。効率的に進捗管理できるよう、専門家の意見を聞くべきだ。そうした専門人材も学識ヒアリング候補者に追加すべきでは。

事務局	○策定コーディネーターにそのような視点も含めてアドバイスをいただきたいと考えている。
森吉副市長	○他に意見あるか。なければ続いて、土地利用構想について意見等あるか。
小泉参与	○土地利用構想は都市計画マスタープランのベースになっている一方、総計の基本計画はこれを直接の根拠として策定されているものでないと感じる。特にゾーン分けに関しては都市計画マスタープランに記載すれば十分で、総計に記載しなくともよいのでは。ただ、4圏域については、この考え方に基づき各種施策を展開している課も多くあると思うので、残すべきであると思う。事務局としてはどう思っているのか再度確認したい。
事務局	○4圏域の考え方は削除すると影響が大きいと思われるため、引き続き掲載していきたい。ゾーン分けについては、市街化も進み一定の役割を終えたと思われるので、総計からは削除してもよいのではと考えている。
前田部長	○土地利用構想の掲載有無については、総計の中身に関することであり、コンサル業者の意見や市民アンケートなども踏まえて決定すべき内容ではないか。本日、掲載の有無を決定しなければいけないのか。
事務局	○影響の大きな内容という認識であるため、様々な意見をいただいた上で、今後の策定委員会で最終案を決定していくことも想定している。必ずしも本日の決定事項とは考えていない。
奥野室長	○都市計画マスタープランは最上位計画である総計とリンクさせて作成しており、ゾーン分けの記載がなくなると整合性がとれなくなるため、記載の必要があると考えている。
事務局	○一番大きな影響があると思われるのが、都市計画マスタープランになるので、今後ご意見も聞きながら最終決定していきたいと考えている。
森吉副市長	○圏域とゾーン分けはそれぞれの目的や役割があるので、それらを整理した上で総計における記載の有無を検討していくべきだ。4圏域は3次総計から継承してきているが、圏域再考の必要性も議論の対象になるだろう。ただし、変更による影響も考慮し、圏域の再整備の必要に迫られた際に議論するものとしたい。また、土地利用構想の掲載有無については、専門家の意見も聞きながら決定していけばよいと思うが、本日の委員会内では、概ね掲載の方向で異論なしかと思う。
土本部長	○ゾーン分けの考え方は必要。特に交流空間ゾーンの部分については、開発等をせずつけずに残してきたものと思っている。ゾーン分けがなくなるとそうした地域の位置づけが曖昧になると思うので、何らかの計画には記載しておく必要がある。

吉田副市長	<p>○他市の状況について、「記載なし」の理由の検証が必要。法定計画でないからではなく、例えばニーズがないから記載していないことも考えられる。また、ここでいう圏域は、個別計画等で用いる圏域とは考え方が異なっている場合がある。圏域という言葉の概念について整理したうえで、総計ではどのように表現するのか検討する必要がある。</p>
森吉副市長	<p>○圏域の考え方が時代の変遷により変わってきており、また、分野により考え方が異なることがわかった。これまでの考え方を踏襲するのも含め、どのような考え方のもと圏域を定めていくのか整理が必要だ。</p> <p>都市計画マスタープランが総計の流れを受けて作成されたことは承知しているが、実際の役割分担としては、行政経営は総計が担い、長期的な都市政策は都市計画マスタープランが担っている現状がある。都市計画マスタープランも総計に依存するものではなく独立した計画であるので、土地利用構想の記載方法は検討事項であるとする。</p> <p><b>【次第2 スケジュール】</b></p> <p>(事務局【政策企画室】から、今後のスケジュールについて説明)</p>
吉田副市長	<p>○創発プランの位置づけがわかりにくい。これまでの経緯なども確認したが、次期創発プランとはどのようなものか定めるべきだ。各個別計画でも、上位計画は総合計画と位置付けており、基本計画部分として間に創発プランが入るとなれば考え方が変わってくる。</p>
森吉副市長	<p>○今回の総計では、基本計画を作成せず、次期創発プランが基本計画部分を担うものとなっているが、行財政改革を目的として「和泉再生プラン」を祖とする創発プランに担えるのかという意見もあれば、既に「まちづくり」の観点が追加されているなど時代に応じた変更は必要という考え方もできると思う。様々な意見があるかと思うので今後議論していただきたい。</p>
森吉副市長	<p>○他に何か意見あるか。なければ、事務局からその他事務連絡を願う。</p>
事務局	<p>○事務局より以下について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創発プランの延長公表時期について</li> </ul>
森吉副市長	<p>○それでは、本日の次期和泉市総合計画等策定委員会については以上とする。</p>

会議の意見を踏まえた対応

- 市民アンケートについて項目の策定方法や活用方法について示すように。  
⇒ 実際のアンケート項目策定方針が定まった際に、策定委員会にて諮っていく。
  
- 土地利用構想については、その記載の仕方を今後検討していく必要がある。  
⇒ 事務局にて関係課と調整したうえで、今後案を示していく。